



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月10日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績（2019年6月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	6,464	△5.9	588	△41.6	678	△39.3	453	△38.2
2019年5月期第3四半期	6,873	2.5	1,008	△11.2	1,117	△8.1	734	△9.9

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 391百万円 (△45.4%) 2019年5月期第3四半期 716百万円 (△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	64.08	—
2019年5月期第3四半期	103.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	15,994	12,897	80.3	1,812.97
2019年5月期	15,757	12,791	80.8	1,797.65

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 12,840百万円 2019年5月期 12,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年5月期	—	20.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,640	△4.5	715	△36.4	825	△33.8	550	△33.6	77.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期3Q	7,552,628株	2019年5月期	7,552,628株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	470,332株	2019年5月期	470,304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期3Q	7,082,309株	2019年5月期3Q	7,082,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る懸念などを背景に減速感が強まりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響も懸念され、不透明感が増しております。米国経済は良好な雇用環境に下支えされ個人消費は底堅く推移いたしました。米中貿易摩擦の影響により中国経済が緩やかに減速し、英国のEU離脱問題などを背景に欧州経済も弱含みで推移いたしました。わが国経済は、世界経済の減速などを背景に輸出や生産が弱含むなど、景気の回復の足踏み状態が続きました。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速感が強まったことなどを背景に、設備投資に足踏みが見られ、需要は弱含みで推移いたしました。フラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、レーザ加工機・検査装置への組込み用途の光学システム製品及び光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移し、自動応用製品の需要は堅調に推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移し、バイオ業界向け光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。米国地域では、バイオ業界、医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け、産業分野向けともに光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億6千4百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益5億8千8百万円（前年同期比41.6%減）、経常利益6億7千8百万円（前年同期比39.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千3百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりでございます。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速感が強まったことなどを背景に、設備投資に足踏みが見られ、需要は弱含みで推移いたしました。国内・アジア地域を中心としたフラットパネルディスプレイ業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、レーザ加工機・検査装置への組込み用途の光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移しましたが、自動応用製品の需要は堅調に推移いたしました。バイオ業界向けの顕微鏡への組込み用途の自動応用製品は弱含みで推移いたしました。米国地域では、バイオ業界、医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け、産業分野向けともに弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は54億4千7百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業利益は9億1千9百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、国内・海外の民間企業向け研究開発分野及び産業分野では、世界経済の減速感が強まったことなどを背景に、設備投資に足踏みが見られ、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域については、フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用のレンズユニットなどの光学ユニット製品の需要は弱含みで推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は10億5千9百万円（前年同期比25.3%減）となり、営業利益は3千1百万円（前年同期比85.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、87億1千8百万円となりました。これは、現金及び預金が4億3千8百万円、受取手形及び売掛金が2億2千5百万円それぞれ増加し、有価証券が5億6百万円、商品及び製品が2億3百万円、原材料及び貯蔵品が1億4千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、72億7千6百万円となりました。これは、当社における新工場棟の完成により、建物及び構築物が9億6千5百万円(うち、4億3千1百万円は前連結会計年度末における建設仮勘定からの振替)が増加し、機械装置及び運搬具が9千6百万円減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、159億9千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、18億3千5百万円となりました。これは、賞与引当金が1億8百万円増加し、電子記録債務が1億6千7百万円、未払法人税等が1億4千5百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて41.2%増加し、12億6千1百万円となりました。これは、長期借入金が3億4千万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.4%増加し、30億9千6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、128億9千7百万円となりました。

自己資本比率は、80.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結・個別業績予想につきましては、2020年1月10日付で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,258	2,845,834
受取手形及び売掛金	1,854,141	2,079,533
電子記録債権	708,180	662,066
有価証券	1,201,894	695,487
商品及び製品	966,463	762,616
仕掛品	380,668	452,645
原材料及び貯蔵品	1,244,515	1,100,114
その他	126,877	121,993
貸倒引当金	△2,172	△2,183
流動資産合計	8,887,827	8,718,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	842,191	1,769,767
機械装置及び運搬具(純額)	649,807	553,235
土地	1,357,505	1,356,878
建設仮勘定	431,370	12,272
その他(純額)	158,236	149,559
有形固定資産合計	3,439,111	3,841,713
無形固定資産		
その他	152,778	139,548
無形固定資産合計	152,778	139,548
投資その他の資産		
投資有価証券	875,562	879,192
繰延税金資産	214,998	255,563
投資不動産(純額)	1,940,204	1,919,800
その他	250,428	243,649
貸倒引当金	△3,438	△3,388
投資その他の資産合計	3,277,755	3,294,818
固定資産合計	6,869,645	7,276,080
資産合計	15,757,473	15,994,188

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,764	538,592
電子記録債務	570,662	403,044
短期借入金	180,800	243,480
未払法人税等	225,348	80,104
賞与引当金	8,315	117,116
役員賞与引当金	20,900	—
受注損失引当金	25,699	22,483
その他	557,505	430,764
流動負債合計	2,072,995	1,835,586
固定負債		
長期借入金	115,800	456,070
退職給付に係る負債	674,611	702,885
その他	102,655	102,049
固定負債合計	893,066	1,261,005
負債合計	2,966,062	3,096,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,112	3,092,112
利益剰余金	7,394,569	7,565,135
自己株式	△633,891	△633,926
株主資本合計	12,476,137	12,646,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,705	163,862
繰延ヘッジ損益	—	△262
為替換算調整勘定	113,766	59,555
退職給付に係る調整累計額	△35,026	△29,790
その他の包括利益累計額合計	255,445	193,364
非支配株主持分	59,827	57,563
純資産合計	12,791,410	12,897,597
負債純資産合計	15,757,473	15,994,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	6,873,643	6,464,924
売上原価	4,012,799	3,968,858
売上総利益	2,860,844	2,496,065
販売費及び一般管理費	1,851,925	1,907,166
営業利益	1,008,918	588,899
営業外収益		
受取利息	5,370	6,604
受取配当金	1,647	1,705
不動産賃貸料	85,634	94,911
持分法による投資利益	42,033	23,528
その他	35,461	30,787
営業外収益合計	170,148	157,537
営業外費用		
支払利息	2,193	2,701
不動産賃貸費用	59,001	56,276
その他	357	9,210
営業外費用合計	61,552	68,189
経常利益	1,117,514	678,247
特別利益		
固定資産売却益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産売却損	598	1,618
特別損失合計	598	1,618
税金等調整前四半期純利益	1,116,970	676,628
法人税、住民税及び事業税	410,786	258,123
法人税等調整額	△34,746	△38,403
法人税等合計	376,040	219,719
四半期純利益	740,930	456,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,265	3,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	734,664	453,858

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	740,930	456,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,318	△12,842
繰延ヘッジ損益	—	△262
為替換算調整勘定	25,771	△57,284
退職給付に係る調整額	5,534	5,235
その他の包括利益合計	△24,012	△65,154
四半期包括利益	716,918	391,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,367	391,777
非支配株主に係る四半期包括利益	3,551	△22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,475,546	1,398,097	6,873,643	—	6,873,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,139	20,912	65,052	(65,052)	—
計	5,519,685	1,419,010	6,938,696	(65,052)	6,873,643
セグメント利益	1,192,054	213,634	1,405,688	(396,769)	1,008,918

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△65,052千円、全社費用△331,717千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,429,193	1,035,730	6,464,924	—	6,464,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,697	23,902	42,599	(42,599)	—
計	5,447,891	1,059,632	6,507,523	(42,599)	6,464,924
セグメント利益	919,034	31,323	950,358	(361,459)	588,899

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△42,599千円、全社費用△318,859千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。